

ランタン谷トレッキング

世界一美しいといわれるランタン。

ランタンエリアのトレッキングの魅力はなんといっても、標高が変わるたびにその表情を変える森の奥深さにあります。

4月11日シャブルベンシからスタートしたトレッキングルートは、冷涼な朝の空気の中、若葉の萌えはじめた溪谷をめぐりながら、やがてセミの声が響きわたる深い森のなかへと入っていきます。樹齢何百年とも思われる大木は苔でおおいつくされ、私たちが歩く足音や話し声さえもが、森の呼気に吸いこまれていくように、どこまでも静閑な時間が続きます。

みずみずしい森にはラングーンの群れやシカ・色とりどりの鳥たちが時折姿をみせ、命の貴さを感じるのです。



標高も2000mをこえるとやがて深緑の森に深紅のラリグラスの花々が現れはじめます。今年あまり天気が良くないといわれ朝から雨の降る日もありましたが、それも苦にはなりません。雨あがりあたり一面に広がる沈丁花の優しい花の香りを楽しむ道が続きます。ラリグラスの森も深紅やピンクの鮮やかな花房から、高度を上げるとやがて純白へとかわっていきます。



トゥロシャブルからシンゴンパへ向かうルートでは、またちがった種類のラリグラスを楽しむことができます。下の谷から這うようにせまりくる深霧の中に、幻想的に浮かびあがる深紅のラリグラスの森がどこまでも続くのです。鳥のさえずりは絶えることなく森に銜し、一日中森の豊かさを体いっぱいと感じることができます。

このランタンエリアのもう一つの魅力は、トレッキングで訪れる村々での人々との出会いです。どの村で出会った人々の顔も実におだやかで、旅装をほどく私たちトレッカーの心もほっとほぐれるのです。



ローカルフードのやさしい味にもぜひふれてみてください。その土地で大切に育まれた伝統の味をたのしむこともトレッキングには欠かせないことだと思います。

ランタンの村では、赤や青や白・黄・緑の旗が家やお寺に掲げられ、人々の信仰の厚さを感じます。五色の旗は、太陽や大地・水・雪・草など自然の豊かな恵みを象徴していると聞きます。まさにランタンの人々の暮らしそのものではないでしょうか。



今回のトレッキングでは、日本語も話せるガイドが私たちにランタンの文化や歴史についてもていねいに教えてくれました。その誠実な姿勢に心から感謝したいとおもいます。皆さんもゆったりした心と体で、トレッキングの豊かな時間をすごしてください。

北海道 高橋 瑠智亜